



佐々木小

第11号

佐々木小学校

新発田市則清 856

TEL.0254-27-2011

「すてきな子どもたち」が生活する「すてきな学校」

校長 齋藤 博敏

令和3年度の教育活動もあと僅かとなりました。3月25日（金）には、創立120周年目の卒業生21名を送り出します。

4月の始業式で、「“すきな学校”に“て（手）”を加えて、みんなで“すてきな学校”にしましょう」と話をしました。さて、その“すてきな学校”になったのかどうか。私は学校で生活する子どもの姿で実際に見ることが一番だと考えています。

1年の最後に子どもらしさが発揮される学校の行事として、「6年生を送る会」があります。この会で見せる、子どもたちの姿こそ、この1年間の子どもの成長を、教育活動の成果を、表すものだと考えていました。

2月25日（金）、「6年生を送る会」が行われました。残念ながら感染症対策のため、オンラインでの実施となりました。主役である6年生と会を運営する5年生が体育館で。その他の学年は、自分たちの番になるまで、各教室のモニター越しでの参加でした。

各学年とも、自分たちの番になると、これまでお世話になった6年生に感謝の思いを伝えようと必死でした。本当にすてきでした。それ以上にすてきな子どもたちだなと感じたのは、教室で会の様子を見ているときの姿です。各学年のパフォーマンスに合わせて、手拍子をしたり歓声を上げたり、全校ゲーム（クイズ）では、大声で叫んだり、まるで体育館で参加しているようでした。



主役である6年生もすてきでした。入場の際、一人一人が台の上に立ち、名前を呼ばれると、思い思いのポーズを決めていました。堂々とポーズを決める子もいれば照れくさそうに決める子。個性あふれる入場でした。また、会の最後に、私から6年生にインタビューをしました（インタビューの内容は伝えていましたが、誰にするかは伝えていませんでした）。「どんなところがよかったですか」と聞いたところ、インタビューに答えた子それぞれが、各学年のいいところを話してくれました。その言葉一つ一つに下学年を思う気持ちがあふれていました。



この「6年生を送る会」をとおして、子どもたち一人一人のすてきな姿を見ることができました。無理なく、自分らしく、一人一人が輝いていました。私が言うのもなんですが、佐々木小学校の子どもたちは、本当に“すてきな子どもたち”です。佐々木小学校は、本当に“すてきな学校”です。

昨年度同様、感染症禍での教育活動となりました。保護者、地域の皆様からは、たくさんの御理解と御協力を賜りました。深く感謝申し上げます。

皆様方の温かい励ましの言葉が私たち教職員の大きな支えとなりました。本当にありがとうございました。